

## 瀬戸内タウンミーティング（裳掛地区）

平成 24 年 10 月 25 日（木）午後 7 時～午後 9 時  
裳掛コミュニティセンター 講座室

参加者：男性 15 人、女性 5 人、計 20 人

### 意見交換

- ・下水道。将来の人口減少をくい止める意味で、若い世代にアピールするためにも、裳掛地区の下水道の供用開始を早くしてもらいたい。

（市長）下水道は、昨年 6 億円かけて 500 世帯ほどが接続できるようになった。それ以外の地区には合併浄化槽の補助を上乗せしている。昨年度 119 基設置補助した。総額約 5,460 万円。住宅が密集しているところは下水道がいいが、そうでないところには 1 世帯あたりコストが高くなる。また、1 メートルあたり 20～30 万円、管の敷設にかかる。50 年後には更新しなくてはならない。一気に下水道を敷設すると 50 年後に同じように苦しい思いをすることになる。

- ・昨年度防災関係でお世話になった。それぞれの地域で自主防災組織をつくりたいが盛り上がってこない。海拔表示ができると聞いたが、市はいつ取り組むのか。地図に標高を落とし込んだものがほしい。避難場所が標高何メートルかというものとか。

（総務部参与）海拔表示の要望は他の地区からもいただいている。沿岸部を中心に来年度表示したいと考えている。県の浸水予想の周知とあわせて実施したいと考えている。どういうものに取り付ければ周知が進むかも考えていきたい。避難場所も皆さんの意見をきいて見直しを考えたい。地図も詳細なものを作成したい。

- ・海拔表示がどこでもわかるように。電信柱すべてについていれば結構見やすいのでは。

（総務部参与）参考にさせてもらおう。

- ・海拔を簡単にはかれる物はないか？

（総務部参与）GPS などで誤差はあるが、だいたいの標高をはかれる。

- ・ふつうの台風でも高潮になりそう。堤防を高くしてほしい。

（市長）岡山県も震災後、かさ上げについて新たな計画をたてていると思う。すぐにやってもらえるかどうかは不透明。ハード事業もやるが、皆さんには

災害発生時にすぐ逃げてもらいたい。また備蓄などもお願いしたい。ハード事業については要望をあげていく。海面が高くなっているところがある。今後も強く要望する。

- ・高潮の際に、車の避難所として出張所北、愛生園の官舎だった土地を買ってもらえないか。道路環境にもよいのでは。

(市長) 防災事業中でのお願いとして、車より人の命。車を動かす場所について、地域の中で考えてもらいたいと思っている。

- ・玉津小学校の統廃合について。裳掛小は玉津小との交流がある。なぜ邑久に統合したのか。裳掛と統合すればよいと思っている。玉津や裳掛は子どもの数が少ないので、先生との距離が近いと思う。邑久に行くことで精神的につらい思いをするのではないかと心配である。いじめも心配である。また、裳掛小へ統合することで、裳掛小を廃校から救うことができると思う。

(市長) 保護者の意向もあり、邑久小に統合することにした。玉津小は向こう3年間、入学生が1人しかいないことから、仮に裳掛小に統合した場合でも、裳掛小の廃校を防ぐ効果としては薄い。裳掛小をどうするか、という話であるが、私は現段階で廃校にする考えはない。長島のありかたをどうするか、という問題と絡む。長島が雇用の場となり、裳掛に住み続けられるまちづくりが必要。長島に特別養護老人ホームの設置を考えている。また光ファイバーの敷設についても国と考えている。働き場の確保を考えつつ、医療、教育と定住の要素について知恵を絞っている。

- ・特養設置のスケジュールは？

(市長) 今年度中に特養の事業者を決定、来年度に設計、再来年度着工、オープンは27年度、というスケジュール。どこに建てるか、国との折衝を進めている。光ファイバーについても、来年度あるいは今年度補正予算での対応を国が考えている。市がそれと連携し、裳掛地区に光ファイバーを敷設するよう考えている。

- ・自治会で防災マニュアルをつくる、ということにしている。どの辺までのマニュアルが望ましいか、市に聞いてみたら他の事例がない。雑形のようなものがあれば。

(総務部参与) 別途相談させてほしい。

- ・移動困難者のための取り組み、介護タクシーのようなもの、についてどう考

えているか。福祉有償運送にしてもタクシーの半額程度の負担がある。西大寺まで 1500 円、岡山市中心部まで 2000 円程度。自宅から出られない人のための支援をしてあげる必要があると考える。今後の市の予定は？

(市長) 介護保険の仕組みの中で考えて行かざるを得ない。また、地域の中でそういった方をお手伝いできる仕組みがあれば。モーモーバスにしてもかなり税金を使うことになり、納税者に負担をかけることになる。地域と行政の役割分担ができれば、きめ細かいサービスが展開できるかもしれない。自宅から出られない移動困難者の交通手段も含め、市全体の交通のあり方を考えなくてはならない。検討課題として持ち帰る。

・ **モーモーバスについて、タクシー業界とのトラブルは？**

(市長) 牛窓の場合はタクシー事業者が東備バス 1 社のため、トラブルは無い。邑久の場合、競合が発生することが考えられる。

・ **黒井山の第 5 駐車場を舟券売場にするという話があったが、どうするのか？**

(市長) 市では情報を把握していない。

・ **畑があれいている。空き家もある。市外からやってきて農業をしたい、という者に貸す仕組みはないか？**

(市長) 空き家の紹介をしている。

・ **小学校の廃校については考えていないと発言があったが、裳掛出張所についてはどう考えているか。**

(市長) 今は考えていないが、診療所、出張所を存続という声がある。それには年間数千万の維持費用がかかっており、反対に尾張に出て行く足がない、という話もある。施設を維持する金を足の確保に回すこともできるという議論がある。その辺りのバランスをどう考えていくか、また相談させてもらいたい。

・ **新病院の 2 階建てはすでに決まっているのか？ 浸水被害が心配。**

(市長) 2 階建て、一部 3 階建てとしている。110 床の規模であれば 1 フロアで作るほうが、管理コストが安くなる、という考えで計画している。浸水被害については地面のかさ上げを行う予定。